

東御市民病院

2023年 医療安全活動の取り組み

～院内事例～

院内処方せんを2名の患者で取り違えて交付してしまいました。薬剤を交付する時点で発覚し、間違った患者に交付されることはありませんでした。



患者確認は医療安全の基本！！

患者にフルネームを名乗ってもらうことで、患者誤認を防ぐなどの医療安全対策を行っています。自分が正しい対象者であるかどうかを医療者に再認識してもらうことで、「患者間違いによる誤投薬」「検査間違い」などの間違い事故を防止することができます。

◎年2回の医療安全研修

2023年度は「インシデントレポートLv0」の積極的な提出により安全意識の向上を促しました。

インシデント報告作成時のお願い

レポート数は大幅に増えました
皆様からのレポートが医療安全活動の貴重な
情報源となります
より正確な情報を得るためレポート記載について
のお願いです

◎医療安全ラウンド

事例に対して改善計画を立案し、管理者によるラウンドを行っています。

◎医療安全管理体制相互評価

近隣の医療安全対策加算Ⅰの施設より年1回評価をしていただいています。

◎根本原因分析（RCA）

週1回、多職種の担当者によるミーティングで院内事例を分析しています。

◎医療安全管理委員会

月1回、各部署の代表者による委員会にて、安全管理に対する事案を協議しています。

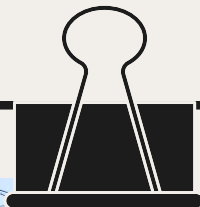
患者さん・職員の安全を
守るために
日々努力しています

◎各種医療安全研修

入職された職員にも早期に研修を行うことで安全対策に協力してもらう「入職時研修」や新しく導入された機器を安全に使用できるように医療機器安全管理者からの研修などを行っています。

医療安全管理者
高塚亮





諏訪共立病院

諏訪共立病院医療安全管理室では、「みんなが元気になる医療安全」を目指して活動しています。医療安全に取り組むことで業務がどんどん安全に近づく、働きやすくなる、と提供いただくと嬉しいです。

最近では、一つの事例に対して関わった複数部署から迅速にレポート提出されるが増えています。大変うれしいことです。レポートの中から、リンクスタッフによりグッドジョブ賞が選出され、表彰もしています♪

(医療安全管理室 酒井)

医療安全推進週間に川柳を募集

医療安全推進週間に合わせて、医療安全川柳を募集しました。応募作品の多くに「チームワーク」という言葉が使われていました。忙しい中でも声を掛け合い、コミュニケーションをしっかりとることで事故防止につなげていく意識が育っています。

2023 年度医療安全推進週間企画

医療安全川柳 投票結果発表

たくさん応募してくれてありがとうございます！
諏訪共立病院医療安全委員会事務局



そのヒヤリ！
明日の事故を防ぐ盾
準優勝 31票 在宅リハ科 高橋敦子

あせらずに
心にゆとり
安全に
3位 30票 矢澤浩彰事務次長

声かけて
チームワークで
事故防ぐ
優勝 50票 南病棟 溝口美絵 五味由希代部長

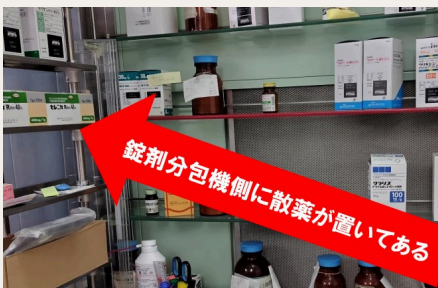
送信し
伝えたい
読みでない
6位 2票 診療情報 清水かおる

マニュアルは
作っただけでは
おられない
5位 2票 古田直哉事務部長

焦らない
トラブル防ぐ
第一歩
4位 2票 健診課 植野彩加

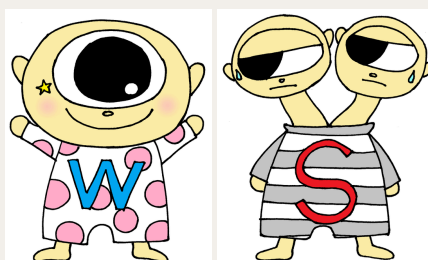
全職員5S学習

年に2回以上開催する全職員学習会では、コロナ禍以降動画学習を取り入れています。今回は薬局の5S事例動画を見て、自分の職場で5Sに取り組みました。



トイレ解錠訓練実施

誰かが閉じ込められた時！非常解錠キーを持ってきて開けられますか？百聞は一訓練にしかず！



一つ目ダブルちゃんと二つ目シングルちゃんは諏訪共立病院医療安全キャラクターです

BLS普通救命講習会

下諏訪消防の方に講師をお願いして実施。以前習った時と変わっている、定期的に学びたい、など感想が。



公式♡

相澤東病院患者安全管理室

～ 転倒・転落防止についての取り組み～

転倒・転落発生！！

どう対策しよう？
(困る・・・)

看護師

転倒あったの？
(多職種は無関心・・・)

多職種



患者安全管理室では過去の転倒・転落のデータ分析から、多職種で患者状況を共有し転倒・転落への対策を行う事が重要ではないか？と考えました。

東病院では毎週1回 多職種による転倒・転落リスクが高い、転倒・転落した患者をリストアップし多職種で対策について検討しています。結果、多職種の視点からのリスク、センサーの種類、対策について検討がされ「最善策」を取ることに繋がりました。

2023年5月～
看護師、リハスタッフ、
薬剤師、介護福祉士等



医療安全活動の取り組み

当院では、「職員一人一人が患者さんの安全をになっているという自覚を持ち、且つ院内がまとまって、患者さん中心の質の高い医療を提供できるための、常に患者さんの安全を最優先に考え、その実現を組織として目指していく」を医療安全の理念としています。

医療安全管理室では委員会の下部組織に、①医療安全推進者会②救急シミュレーションチーム③呼吸サポートチーム、を持ち、連携をとりながら安全で質の高い医療ができるように活動しています。

① 医療安全推進者（セイフティーマネージャー：SM）会

現場でのインシデント報告に対しては、各部署のSMが中心となりインシデントの分析や対策の検討を行っています。また、月に1回院内ラウンドを行い、他部署のSMから「医療安全」の視点でフィードバックを受ける機会を設けています。昨年度から「患者確認」について重点を置き活動を継続しています。2023年度は、確認行動の精度を上げることを目的に「指さし呼称強化月間」を設け職員への働きかけをしています。



② 救急シミュレーションチーム

BLS/PBLS 講習会や救急シミュレーションの企画・運営を中心に活動しています。昨年度、BLS/PBLS 講習会は11回開催し200名近くの職員が参加しています。また、患者の急変時を想定したシミュレーションは病棟・部署（放射線科・生理検査科など）毎に開催され、救急時のアルゴリズムを習得できるような研修体系を構築中です。本チームでは急変時に必要とされる知識技術の習得に留まらず、「コミュニケーション」を大切にしたトレーニングを目指しています。



③ 呼吸サポートチーム



呼吸器ケアを要する患者さんに対するケアの質と安全性の向上を図ることを目的に、2022度より活動を開始しています。医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士によって結成し、病棟ラウンド・相談対応・研修会の開催など活動が少しずつ活性化してきました。医療的ケア児の増加の影響もあり、日常的に人工呼吸器を使用している患者さんが多く（入院患者の1/3を超えることも！）、呼吸器に関連する事故予防・対策の面からもチームの活動が期待されています。



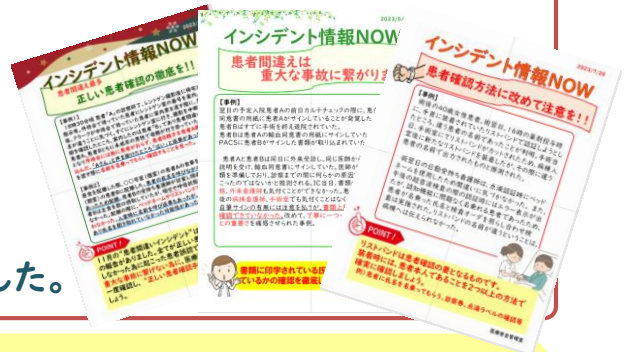
医療安全活動の取り組み

《医療安全管理室紹介》

メンバーは、医療安全管理室長（副院長）、副室長（事務部長）、医療安全管理者（看護師長）、医薬品安全管理責任者（薬剤部科長）、診療技術部長、医療機器安全管理責任者（臨床工学科科長）、看護部長、医事課長、安全管理担当参事（警察OB）、医療安全管理室事務 計10名で構成されています。日々の実働は医療安全管理者と事務員が担っていますが、2名とも新入室員だったため、昨年度は引き継いだ業務を手探り状態でコツコツ実践した1年間でした。

《全職員への情報発信》

院内で発生したインシデント内容や注意点、傾向、件数などの周知のため、インシデント情報NOW 月2回、医療安全便り 月1回 配信しています。昨年度は『患者誤認インシデント防止』をテーマとして、繰り返し働きかけを行いました。



医療安全ラウンド

毎月第4火曜日に、医療安全管理室員による多職種ラウンドを実施しています。チェックリストの見直しや訪問部署を増やすこと、身体拘束について等、より効果的なラウンドが実施できるよう検討していきたいと思ひます。

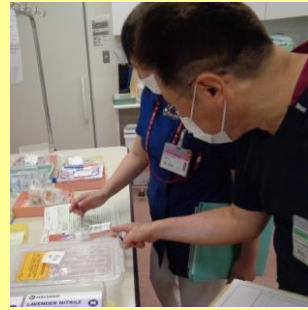
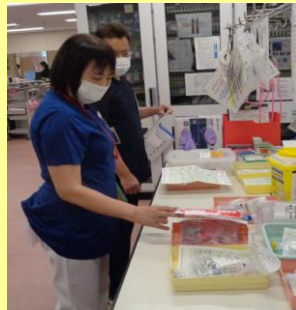
廊下に歩行器、ポータブルトイレが複数あり。景色を見るため廊下に椅子が出したまま。患者の歩行を妨げていました。



車椅子は、必ずストッパーをかけましょう。



ステーション内のPC画面が廊下側に向かって開いていました。気をつけましょう。



医療安全活動の取り組み

JA長野厚生連 長野松代総合病院



そもそも100%の絶対安全はない！しかし、リスクを最小限に留める！サポートは惜しまない！をモットーに活動しています。患者に不利益を生じさせないことを大原則とし、客観的に事象を捉え、コミュニケーションや対話を大切にしながら、心理的安全性を担保しつつ、再発防止策の検討や安全な医療環境作りに取り組んでいます。

当院の年間報告件数はヒヤリハット事例を含め2800件程になりますが、提出されたレポートによっては、マニュアル修正などにも役立てています。2024年度は、身体拘束最小化に向けた取り組みを後押しし、看護部医療安全対策委員会に協力しながら、転倒・転落防止対策にも力を入れています。

★院内事例から

配薬時の事故報告が多発しました。そこで誤配薬防止に向けた取り組みとして、ポスターを作成しました。

薬袋には必要な情報が全て網羅されています。

『配薬時は薬袋を見て、指差し呼称しながら確認しよう』との

内容のポスターです。病棟では薬袋を管理している棚や薬袋を入れる籠に張り、注意喚起しています。



★非常時対応・護身術研修会の開催

警察官指導による刺叉・警杖の使用方法や護身術等について、真剣に学びました！



★医療安全推進月間(毎年11月に実施)

2024年度のテーマ:『**これでよし！ 思い込まずに 再確認**』

- ・医療安全研修会の実施
- ・医療機器安全研修会の実施
- ・各部署テーマに沿った取り組みの実施
- ・患者等への広報活動
(ポスター・垂れ幕・ホームページ)

医療安全推進月間



医療安全ニュースレターの発行

- ★インシデント・アクシデント報告件数について、月間・年間報告
- ★院内での事例紹介及びその対応策の周知
- ★日本医療機能評価機構からの「医療安全情報」の提供 (年20回程度)

その他の活動状況

- ★医療安全管理対策委員会の開催(月1回)
- ★医療安全管理部門会議(毎週1回)
- ★院内巡視(月1回)
- ★医療安全研修会の開催(年2回)
2024年度第1回目「身体拘束・虐待予防について」実施
- ★看護部医療安全対策委員会への出席
- ★外部委託業者への医療安全研修の実施
- ★電話、窓口での苦情・意見の聴取→対応
- ★投書への対応


など


飯田病院 医療安全活動の取り組み

当院は、「仁の心」を基本理念に質の高い安心・安全な医療の提供に取り組んでいます。医療安全に興味を持ち、参加することへの実感を得てもらうために毎年標語の募集をし、毎月標語付きカレンダーを作成して各部署に配布しています。年度末に「良かったと思う作品」に投票し、最優秀賞と優秀賞2点を選出。受賞部署には表彰状と山盛りのお菓子をプレゼントし、院内報にも載せています。

「医療安全標語」投票結果など トピックス安全 No. 108



 **最優秀賞**「チーム医療 聴こう 話そう 伝えよう」(N3F)

 **優秀賞①**「同じミス 忘れた頃に 繰り返す」(OP 室)

 **優秀賞②**「一人より みんなで共有 事故防止」(検査科)

もう少しで賞

「気づいてくれてありがとう♡ 小さな声かけ 事故防ぐ」(内科外来)

「一歩先読み 減らそう！ 転倒・転落」(S6F)

「マスク越し 伝わらなければ 独り言」(栄養科)



◆ 最優秀賞作品



◆ 最優秀賞スタッフの満面の笑顔(ご褒美は大事です♡)

◆院内ラウンドと医療安全対策地域医療連携相互ラウンドについて

レポート報告を確認しながら日々のラウンドの他に、看護部医療安全管理員会で年に2回のラウンドを行っています。病棟や外来部門など、皆でラウンドすることで細かな気づきもあり、改善策に繋がっています。

地域病院の相互ラウンドでは、コロナ感染の関係で ZOOM ラウンドでしたが、ようやく現場でのラウンドができるようになりました。他の病院の取り組みを知ることが出来るので、参考にさせていただく事も多くあり貴重な情報交換の場となっています。定例会議もあり、皆で仲良く和気あいあいと交流しています。

当院は病床の約半数が精神科という特徴が有り、認知症患者の受け入れもあるため、転倒・転落のレポート報告数が全体の4割を占めています。転倒・転落件数を減らすことは、永遠のテーマです。また、精神科ならではの自殺防止策や暴力への対応…。患者自身や職員を守ることへの対策が重要となります。

飛び降り予防のネズミ返し





長野県立総合リハビリテーションセンター 医療安全活動の取り組み紹介



医療安全研修



今年度は、事故防止研修として劇団看護部が、どんなところに危険が潜んでいるか動画を作成し研修参加者に想像力豊かに考えてもらいましたにゃ。



ニュースレター

毎月配信して、良い気づきのインシデントゼロレポートを出してくれてありがとうと感謝の言葉を伝えているんだニャ。他にも、「これは、みんなで共通認識を持った方がいい」と思うインシデントレポートの改善策を知らせたりしてるんだニャ!!



看護部医療安全メンバー

看護部医療安全メンバー中心に、安全な看護を提供できるよう日々取り組んでいますにゃ。

